【令和2年度】

**「新型コロナウイルス感染症対策の府民意識と行動変容」に関するアンケート　リサーチプラン**

1. 調査の背景と目的

新型コロナウイルス感染症が猛威をふるう中、大阪府では各種感染対策を実施するよう府民に呼びかけている。この度、府民の感染防止対策の実施状況や感染症に対する意識、府民がコロナ関連情報を得ている手段を把握し、府民の行動変容を促す広報活動につなげるため、本調査を実施する。

1. 調査仮説
2. 若い年代ほど、新型コロナウイルスに感染しない、もしくは感染しても重症化しないと思っている割合が高い。
3. 若い年代ほど、感染が疑われても検査を受けたくない、もしくは行動歴や濃厚接触者を特定する調査に協力したくない割合が高い。
4. 調査対象

国勢調査結果（平成27年）に基づく性・年代・居住地（４地域）の割合で割り付けた、18歳以上の大阪府民1,000サンプル

1. 質問項目

予備質問　５問

1. 年齢（NA）
2. 性別（SA）
3. 都道府県（SA）
4. 市町村（SA）
5. 職業（SA）

本質問　14問

（Q1～Q５は他の調査で使用）

1. 基本的な感染防止対策の取組状況（MA）
2. 新型コロナウイルス感染症に対する意識（表組SA）
3. コロナ関連の情報の入手先（MA）
4. 第２波の感染拡大を受けて取った行動（MA）
5. 第２波のときに重視していた情報（MA）
6. 第３波の感染拡大を受けて取った行動（MA）
7. 第３波のときに重視していた情報（MA）
8. 年末年始の普段会わない家族や友人・知人との交流について（SA）
9. ワクチンの接種希望（SA）
10. ワクチンを希望する理由（MA）
11. ワクチンを希望しない理由（MA）
12. 基礎疾患等の有無（SA）
13. 同居人（高齢者、基礎疾患等のある方、妊婦の有無）（MA）
14. 日常生活における高齢者との関わり（SA）
15. 検証方法

　仮説１：ＳＣ１×Ｑ７

仮説２：ＳＣ１×Ｑ７